

令和3年度 ウンカ情報 第2号

令和3年8月2日
島根県病害虫防除所

…セジロウンカが平年に比べて多くなっています。…

セジロウンカ



7月下旬の巡回調査(50株払落し調査)において、県内全域でセジロウンカ成虫を確認しました。発生ほ場率 93.5%(平年 65.3%)、寄生虫数 122.2頭(平年 18.6頭)/50株と、寄生虫数は平年に比べて多くなりました。

7月下旬までの予察灯への誘殺数は58頭(平年 31.1頭)と平年に比べてやや多くなりました。県内初飛来は5月18日と平年に比べ早かったものの、その後大きな飛来は確認されていませんでした。しかし、7月4～7日にかけて平年に比べやや多い飛来が確認されました。

今後の発生状況に注意し、基幹防除を実施してください。

～セジロウンカ・トビロウンカ発生予測パターン～

気温(8月1日までは今年の気温、それ以降は過去30年間の平年値)を用いた有効積算温度計算シミュレーションから発生予測パターンを作成しました(JPP-NET 病害虫発生予測データベース)。発生消長把握の参考としてください。



注)8/2以降の気温が平年と大きく異なった場合は、本予測パターンと異なることがあります。

トビロウンカ

コブノメイガ



トビロウンカとコブノメイガ

トビロウンカは予察灯及び巡回調査では発生を確認していません。コブノメイガは巡回調査で平年並みの発生を確認しています。今後の発生状況に注意し、セジロウンカと同様に基幹防除を実施してください。